

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（153）」

2. 日時：令和5年2月15日(水) 13時30分～15時45分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、西来主任技術研究調査官※、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与、杉野統括技術研究調査官、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

北海道電力株式会社：藪執行役員 松村執行役員 他7名※  
三菱重工業（株） 2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年2月8日に受取済み>>

- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答  
(地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ)
- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答  
(地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ) (補足説明資料)

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁タニです。時間になりましたのでヒアリングを始めます。今日のヒアリングの案件は、泊発電所3号炉基準津波に関するコメント回答。
0:00:12	内容としては地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせということで、
0:00:19	2月8日に資料を提出いただいてまして、この資料に基づいてですねまず、説明をいただいた後に内容を確認していきたいと思いますのでまず北海道電力の方から、
0:00:32	資料の説明をお願いいたします。
0:00:37	はい。北海道電力の松村です。本日のヒアリングよろしくをお願いいたします。
0:00:43	基準津波に関して組み合わせ評価について資料をまとめました。昨年12月のヒアリング等々踏まえまして資料作成、修正しましたのでよろしくをお願いいたします。
0:00:56	本日資料作成に当たりましてご協力いただいた三菱重工さんも同席させていただきますのであわせてよろしくをお願いいたします。
0:01:05	説明はアオキから時間は変更点中心に20分程度を予定しております。よろしくをお願いいたします。
0:01:16	北海道電力の青木です。私の方から説明させていただきます。資料の方ですが2種類ございまして本編資料と、あと表紙に補足説明資料と書いてある二つの資料を用意しております。
0:01:28	あと説明では本編資料のほうで説明させていただきます。
0:01:32	また前回の12月27日ヒアリングやっております、その中でわかりやすさの観点から資料全体にかけて修正をしております。この上物変更点について今回説明させていただきます。
0:01:44	5ページめくっていただいて2ページの目次をお願いいたします。
0:01:49	前回からの変更点としまして、5.5章以降の資料構成について主に変更しております。具体的には5.5章で、最大ケースの分類。
0:02:00	5.6所から5.8章にかけて、水位上昇側の評価、5.9書から5.11章にかけて、水位下降側の評価。
0:02:09	最後5.12個でまとめとして水位上昇側加古川について説明する構成に変更しております。
0:02:17	また今回の説明では、このうち、1.1書の本日の説明概要というところを大きく変更しておりますのでこの箇所をメインで説明させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	また 5 章において大きく変更した箇所についても個別のページごとに説明させていただきます。
0:02:35	早速 3 ページの 1.1 本日の説明概要からお願いいたします。
0:02:40	ここでは、今回の説明範囲について説明しておりまして、テキストボックスの矢羽根の指摘事項 3132、あと指摘事項 26 の回答の位置付けの資料となります。
0:02:53	続いて 4 ページお願いいたします。
0:02:56	14 ページ以降、これまでの審査の説明経緯について取りまとめております。
0:03:02	まず、令和 4 年の 7 月 1 日の審査会合において組み合わせ評価における検討方針について説明しております。
0:03:10	その中で組み合わせ評価における最大ケースについては、地震津波の最大ケースのケース①から⑳とかはしらの組み合わせによって選定できると考え、
0:03:21	検討方針についてご説明させていただきました。
0:03:24	その後 9 月 16 日の審査会合においては、検討結果の説明というところで、
0:03:31	当先に説明した検討方針に基づく検討結果として、概ね組み合わせの時間を網羅するような検討ケースになったと。
0:03:39	また組み合わせ評価によって各評価項目で最大となる波源が、地震津波の評価と異なる波源になった波源の入れかわりと定義しているものですが、発生したというところがわかりました。
0:03:51	ここで指摘事項 31 番というところで、泊発電所の特徴を踏まえた組み合わせ評価の妥当性及び敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定の妥当性を示すことと言われております。
0:04:05	またその中で幾つかの地形モデル波源を分析した段階で中間的に報告を行うことを、
0:04:11	当庫の指摘を踏まえまして、10 月 28 日の審査会合で分析結果を中間報告として説明させていただきました。
0:04:19	その内容としましては 5.5 章で最大ケースの分類というところで、こちらで記載しております 5 種類のケースに分類したことを説明させていただきました。
0:04:30	また 5.6 所の友利羽賀発電所の波源の特徴の上昇側として、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:36	波源の入れ替わりが発生したことを契機に、泊発電所の波源の特徴を確認するために、事前検討の位置付けとして、組み合わせ評価で水位が大きくなった奈良のデイリーという、
0:04:47	波源を対象に分析し、戸村泊発電所の波源の特徴について説明させていただきました。
0:04:53	具体的には地震に伴う津波は、波源位置の違いによって位相が大きく異なる。
0:04:59	川白については地震以外の要因に伴う津波として水位は大きい。
0:05:04	あと組み合わせ評価としては、川白の各ピークと地震津波の各ピークが重なって水位が大きくなると、こういった特徴について説明させていただきました。
0:05:14	続いてページめくっていただいて5ページお願いします。
0:05:19	これまでの経緯を踏まえて今回の説明に関する最終報告の説明内容となります。
0:05:25	と波源の特徴を踏まえますと、以下の課題について判明しました。
0:05:30	一つ目の矢羽根で、組み合わせ評価では、波源位置位相の変動を考慮した場合に頭の各ピークと重なって水位が大きくなる可能性がある。
0:05:40	あと地震津波の最大ケースでありますケース1から20を組み合わせ対象波源としておりましたが、これ以外の波源、具体的には波源位置の理想の変動を考慮した波源。
0:05:51	を組み合わせ対象とした場合に、水位が大きくなる可能性があるというところが課題になると考えております。
0:05:58	また資料中の中央に、ケース①を用いた例示したものを書いております。
0:06:05	左上に緑色の枠の中でケース①というところで、くの字モデルの東井戸の波源が記載してございます。
0:06:13	これに対して、波源位置を西に移動させた場合は、東へ移動させた場合、
0:06:18	のときの波源位置が想定されまして、そうすると、右側で書いております。
0:06:24	水位時刻歴は系の緑線のものが青矢印の方向にシフトする、もしくは赤矢印の方向にシフトするというのが考えられます。
0:06:34	そうなった場合に、川白のピークの範囲でありますピンクの破線の範囲内に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:41	地震津波のピークと川白のピークが重なるということが想定されてその場合に水位が大きくなる可能性があるということが課題になると考えてます。
0:06:51	こういった課題を踏まえまして、追加解析波源位置の変動を考慮することで、泊発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価の妥当性及び敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定の妥当性について説明すると。
0:07:05	いうところが今回の説明となります。
0:07:08	続いて6ページをお願いします。
0:07:13	ここでは水位下降側に関する説明内容についてまとめております。
0:07:18	水位の下降側については、水位上昇側では見られなかった特徴が確認されたので、この特徴をまず分析し、泊発電所の波源の特徴について説明するということになります。
0:07:30	具体的には、組み合わせ時間差の変動に対して、貯留堰を下回る継続時間が急増する、またはパルスを考慮しない時間が急増するといったようなケースが見られたのでこれについて確認すると。
0:07:43	いうところが最初の方針となります。
0:07:46	中央の表中中央5. 10床から5. 11章に確定は、水位上昇側において、移送による影響が大きいというところを確認したので、水位下降側においても、
0:07:57	位相変動させる必要があるかということについてまず説明させていただきます。
0:08:02	その5. 12では全体のまとめというところで、波源の選定結果の水位上昇側下降側について説明させていただきます。
0:08:13	続きまして8ページをお願いします。
0:08:18	8ページから11ページにかけてが、指摘事項No. 31と32の回答方針になります。
0:08:26	まず、8ページにつきましては左側に指摘事項の31と30に記載しております。
0:08:33	このうち、黒字で書いているところの回答方針は、右側のところで書いてあるところになります。
0:08:39	また右側の回答方針の記載内容については、さきに説明した説明経緯の中の、
0:08:45	説明内容と同様でありますので説明を割愛させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:50	続いて9ページをお願いします。
0:08:53	こちら8ページを同様に左側の指摘事項のうち、黒字のところ、矢羽根で示した黒字の対応を、右側の回答方針で具体的に書いております。
0:09:04	と回答方針の方をお願いします。薄井所所側の検討方針としまして、
0:09:09	検討⑤追加解析の波源位置の変動を考慮する。
0:09:14	ケースの検討対象ケースを選定するために、検討①から検討④の手順にて地震津波と河瀬らのピークが重なって、水位が大きくなる可能性のある条件を分析選定するということになります。
0:09:28	検討1から3で選定した検討対象ケースに対して検討4で選定した断層パラメータを、川白のピークが近づく方向に変更して検討を実施するということになります。
0:09:41	また表中の中に、組み合わせ対象波源記載しておりまして、ケース1から20を対象とした検討として検討①から③を実施していきます。
0:09:52	と検討①ではまず着目するピークについて分析選定していく、検討②では地形モデルについて分析選定、検討③では波源を分析選定するといった流れになります。
0:10:05	その後、地震津波の
0:10:08	ケース①から⑳以外の波源の検討として検討④で断層パラメータを分析選定し、
0:10:15	そして最終的に検討⑤の追加解析を実施していきます。
0:10:20	ところで検討①から④の内容については、指摘事項でカラフルな下線引いておりますが、それぞれの内容に対応する形で、
0:10:30	分析選定を実施しております。
0:10:35	続いてページめくっていただいて10ページの方をお願いします。
0:10:40	こちら水加古川の観点での回答方針をまとめたところになります。
0:10:45	と水位の下降側では、上昇側ではない特徴が確認されたのでまずそれを分析するということになります。
0:10:53	また水位上昇側において、移送による影響が大きいことを確認したことから、水位下降側においても一層の変動の考慮の必要性を確認いたします。
0:11:02	まず、計ケース①から②児を対象に着目するPEEK地形モデル波源について分析を実施していきます。
0:11:11	その中で水位時刻歴は系の比較からもこれらの傾向の違いについて確認するという方針になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:19	ここで移送の変動の考慮の必要性を確認できた場合には、地震津波の最大ケースのケース①から⑳以外の波源に関する検討を実施していくという方針にしております。
0:11:32	11 ページが検討フローになります。
0:11:36	こちらは、8 ページから 10 ページで回答方針説明させていただきましたが、そのの、
0:11:43	説明のフローについて、
0:11:45	整理し直したものになっております。
0:11:47	具体的には最上段に 5.5 章の最大ケースの分類がありまして、そこから左側のフローというところで、水位上昇側については元の特徴、
0:11:59	波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価。
0:12:02	敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定という流れで整理していきます。
0:12:07	また右側のフローですと、水位下降側についても同様に、波源の特徴から組み合わせ評価波源選定という流れで説明していきます。
0:12:17	そして最終的に 5. 10 日後で上昇側加古側のまとめとなります。
0:12:24	13 ページをお願いします。
0:12:27	このページ以降、各章の説明概要を 1 ページから 2 ページにかけてまとめましたので説明させていただきます。14 ページをお願いします。
0:12:38	ここでは 5.5 章の最大ケースの分類についてまとめたページになります。この分類方法については、前回の資料と大きく変わっておりませんので説明は割愛します。
0:12:50	17 ページをお願いします。
0:12:55	こちら泊発電所の波源の特徴の水位上昇側についての説明となります。
0:13:01	こちらについても、説明内容について大きく変更してございませんので、飛ばさせていただきます。
0:13:07	続いて 18 ページをお願いします。
0:13:10	こちら 5.7 所の特徴を踏まえた組み合わせ評価の上昇側、
0:13:15	のうち検討①から④に関する説明となります。
0:13:19	当組み合わせ評価では波源 1 一層の変動を考慮した場合に川白のピークは下がって水位が大きくなる可能性があります。
0:13:27	検討⑤追加解析の検討対象ケースを選定するために、検討 1 から 4 の手順にて水位変動量が大きくなる可能性のある条件を順番に分析選定して行っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:39	検討1では、ピークについて、検討②は地形モデル、検討③では波源検討4では断層パラメーターといった流れです。
0:13:48	検討①、検討②において異なる条件が選定されたことから、検討⑤では、検討後のA5のBCの三通りの追加解析を実施します。
0:14:00	注釈で書いておりますが具体的には、検討①の結果として、各ピークが重なって水位が大きくなる可能性のある条件として二つの条件が選定されております。
0:14:12	一つ目が、柱の一般のピークと地震津波の2羽のピークが重なる可能性、二つ目の矢羽根で、川白一般のピークと地震津波の一般のピークが重なる可能性。
0:14:22	二つの条件が抽出されております。
0:14:25	※2の検討②のうち、川白一般のピークと地震津波の一般のピークに着目した検討結果では、
0:14:33	評価項目によって水位変動量が大きくなる可能性のある地形モデルの条件が二つ選定されておりますのでここでまた分岐しております。
0:14:42	防波堤の損傷フォローした地形モデル③と健全地形モデルの二つが選定されているというところになります。
0:14:49	検討①検討②で異なる条件が選定されていたので最終的に検討後のAから5のCの三通りについて、
0:14:57	追加解析を実施しております。
0:15:01	続いて19ページお願いします。
0:15:05	検討①から③で選定した対象ケースに対して検討もあるように選定した断層パラメーターを川白のピークに近づく方法に変更して、
0:15:16	検討⑤の追加解析を実施いたしました。
0:15:19	こちら中央の表中の一番左側のところの下段のところのところに検討結果を書いておまして、
0:15:28	当検討後のの検討結果としては、川白一般のピークと地震津波の2羽のピークが重ならず、5.4章の最大ケースを上回らないという結果になりました。
0:15:40	また中央検討5-Bにおいては、川白一般のピークと地震津波の一般のピークが重なるものの、5.4章の最大ケースを上回らないという結果になりました。
0:15:52	また一番右側、検討5のcでは、川白一般のピークと地震津波の一般のピークが重なって、5.4社の最大ケースを上回る結果となりますと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:02	上回る結果となりました。
0:16:05	また上回ったケースについて右下の検討後のCのケースというところで、放水工の10.45メートルの下限が上回ったケースとして出てきております。
0:16:17	次に10ページをお願いします。
0:16:21	追加解析は現地の変動を考慮した結果を踏まえまして、敷地に対して大きな影響を下げ、水位上昇側を表のように整理しております。
0:16:31	あと防潮で前面、3号炉取水口、一、二号の取水口については、5.4社の最大ケースより選定しております。
0:16:40	なお、5.7章の特徴を踏まえた組み合わせ評価において、追加解析を実施したものの、水位が大きくなることを確認しておりますので、5.4章の最大ケースより選定しております。
0:16:53	また一番下の方遂行については、5.7の5.7章の特徴を踏まえた組み合わせ評価における追加解析結果より選定しております。
0:17:05	ここまでが上昇側の説明となりまして21ページ、水位下降側の説明となります。
0:17:13	繰り返しになりますが、水位下降側では、上昇側ではない特徴が確認されたので、特徴を分析して、
0:17:20	波源の特徴について整理しております。
0:17:23	中央の左側に貯留堰を下回る継続時間の説明がございます。
0:17:29	この中で組み合わせ時間差130秒のケースの場合では、頭を大きくした加古川の葉系のうち、一部中、中央のところで上側に凸の葉系がありましてこの葉系が、
0:17:42	TP-4メートルを上回っているため、貯留堰を下回る継続時間が400秒の結果となっております。
0:17:49	これに対して組み合わせ時間差が135秒の結果では、
0:17:54	この同じ上に凸の葉系が貯留堰の天端高さを上回らないという結果になるため、
0:18:00	ここのはけが繋がってうちたまり継続時間が641秒と長い結果になります。
0:18:06	そこの違いによって等組み合わせ時間差のわずかな違いで評価値が急増するという結果がわかりました。
0:18:15	またパルスを考慮しない時間についても、この上に凸のハケがパルスになるかならないか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:21	評価値が大きく異なるという結果がわかりました。
0:18:25	下側のテキストボックスに結論を書いております、
0:18:29	貯留堰を下回る継続時間パルスを考慮しない時間では、一時的に上回る家はありますか、その上回るハケがパルスになるかどうかによって、評価結果に大きな影響を及ぼすことから、
0:18:41	組み合わせ評価に対する感度が大きいというところでまとめております。
0:18:47	続いて 22 ページをお願いします。
0:18:51	吉良組み合わせは下の特徴を踏まえた組み合わせ評価の加古川の説明となります。
0:18:57	まず左上に検討目的書いておまして、水位上昇側において移送による影響が大きいことを確認したことから、水位下降側においても一層の変動の考慮の必要性を確認すると。
0:19:08	いう方針にしております。
0:19:10	まずはケース①から⑳のケースを対象に、水位時刻歴はKの比較から、着目するピーク地形モデル波源による傾向の違いを確認します。
0:19:21	この検討で、位相の変動の考慮の必要性を確認できた場合には、ケース 1 から 20 以外に関する検討を実施するという方針にさせていただきます。
0:19:31	具体的な検討内容としては、地震に伴う津波とかは白戸組み合わせのそれぞれの水位時刻歴 8 件の比較を実施いたします。
0:19:41	あと地震に伴う津波の下降側となる範囲と組み合わせにおける 3 号炉貯留堰天端高さを下回る範囲をそれぞれ設定しまして、
0:19:51	変動の必要性をについて確認しております。
0:19:55	と地震津波の加古側にある伴糸川氏らの第 2 は、第 3 は、が重なることを確認する。
0:20:02	とまた重なった範囲において、組み合わせ評価における 3 ゴール貯留堰天端高さを下回る範囲が発生していることを確認すると。
0:20:09	いうところが具体的な検討内容になります。
0:20:13	また左下の表中に、加古川となる範囲と、3 号炉ちよりでき天端高さ下回る範囲の考え方をまとめておまして、
0:20:22	加古川となる範囲については、T P 0 メーター以下の範囲としております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:27	ここでP0メーターからTP-4メーターの範囲については、組み合わせることで、天端高さを下回る可能性があるというところを踏まえまして、
0:20:37	この範囲を含むように幅広の範囲になるようにした加古川となる範囲を設定しております。
0:20:44	また3号炉貯留堰天端高さを下回る範囲については、TP-4メーター以下を基準に設定しております。
0:20:51	またパルスになる可能性を踏まえて、一時的にはまだ派遣も含めて整理してございます。
0:20:58	23ページお願いします。
0:21:01	こちら結果をまとめたものになっておりまして、左側にピークに関する分析結果を書いております。
0:21:08	この地震津波の加古川となる範囲と川下の加古川第2は第3は重なることを確認いたしました。
0:21:17	なお、磯が早くなった場合は、移送が遅くなった場合について想定すると。
0:21:23	加古川の2羽とか古閑さんとは重ならない重ならなくなる可能性があるので、
0:21:29	江藤算をシフトすることで評価値が小さくなる。
0:21:33	非安全側の評価になるというところを書いております。
0:21:38	また組み合わせ評価の方では、下降側となる範囲と、
0:21:42	組み合わせの、
0:21:44	箱がなる範囲と川白の2は3は重なって、組み合わせ評価における3号炉町履歴テンパ高さを下回る範囲になっているというところを確認いたしました。
0:21:56	また右下テキストボックスの表中の下側のところで、地形モデル波源の分析結果、書いておりまして、
0:22:04	波源や地形モデルが異なるケースのケース①から⑳について確認した結果、先に説明した結果が共通してられているというところから、
0:22:15	地震に伴う津波と川白の重なり方については、波源や地形モデルの違いによる傾向はないというところを確認いたしました。
0:22:24	薄井の加古側では、位相の変動を考慮しなくとも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:28	地震に伴う津波の加古川となる範囲と、かわしらの加古川第2は、第3は重なっているため、一層の変動の考慮の必要性がないことを確認いたしました。
0:22:39	以上より、泊発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価の妥当性について確認いたしました。
0:22:47	24ページをお願いします。
0:22:52	大崎の説明によって、組み合わせ評価の妥当性を確認できたことから、敷地に対して大きな影響を下げ、加古川については5.4章の最大ケースより選定いたしました。
0:23:05	また中央のテキストボックスで選定した波源の水位時刻歴派遣を確認しまして、
0:23:10	当初利益を下回る継続時間やパルスを考慮しない時間が急増する可能性がないことを確認して、波源選定の妥当性を示しております。
0:23:19	具体的には、下側には形を変えておまして、一時的に上回ってるわけがないというところや、これは下がすべてパルスになってるところで、
0:23:31	仮には形位相の変動を考慮しては形が下若干変わったとしても、
0:23:36	評価値が9増する可能性がないというところを確認したというところを書いております。
0:23:43	続いて25ページをお願いします。
0:23:47	こちらは水位上昇側加古川すべてについて、一番大きい波源を選定した結果についてこのページでまとめております。
0:23:56	ここまでが1.1章の説明概要に関する説明でして、
0:24:01	続いて大きな変更点というところで、
0:24:04	個別に102ページ、お願いします。
0:24:14	あと102ページでは、5.6所の波源の特徴の上昇側として、防潮で前面の上昇側について整理しております。
0:24:23	この膨張で全面上昇側の最大ケースであります、7-Dのケースを対象に、最大水位分布を確認した結果、取水口付近での水位が最大になることを確認いたしました。
0:24:35	また、防潮で前面と3号取水口、1号取水口の葉系を確認した結果、ピークが発生する時刻は概ね同じであると、確認したり、なぜ膨張で前面の清浄者のメカニズムと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:49	3号取水口12号取水口の水位上昇のメカニズムが同じであることを確認いたしました。
0:24:55	以上の結果を踏まえまして、防潮て前面上昇側に関する、
0:25:00	東郷、7章に関する評価については、3号取水口12号取水口で代表させるというところを書いております。
0:25:10	続いて125ページをお願いします。
0:25:18	こちら検討④の検討方針の説明ページになっております。
0:25:24	このうち下のところに表がありましてその上段で、断層パターンについて説明を加えております。
0:25:33	この断層パターンの1から8については、東西方向位置の二通りと傾斜角の二通り、あと傾斜方向の2通りを組み合わせ、段差パターン1から8。
0:25:44	構成されているというところを踏まえてこれらの違いによる分析を個別に分析しております。
0:25:51	また分析にあたっては、対象ケースになっている断層パターン6を基本として、東西方向位置、傾斜角及び傾斜方向による違いを分析するため、それぞれ、
0:26:02	断層パターン2と5と7とそれぞれ比較しております。
0:26:08	またここで説明したケース以外については、
0:26:11	これらの結果に包絡されると考えているというところから検討対象外にしております。
0:26:18	一つで126ページをお願いします。
0:26:22	ここでは断層パターンに登録の東西方向位置の違いについて分析しております。
0:26:29	下側の結論になりますが、断層パターンを決定ケースであります断層パターン6から断層パターンに変動させた場合、西に移動させた場合については、
0:26:40	波源位置の発電所から遠ざかるため、地震津波の2羽のピークの位相が遅くなって、河瀬らの一般のピークの、
0:26:47	組み合わせ時間範囲から遠ざかるというところを確認しております。
0:26:52	527ページをお願いします。
0:26:56	これは断層パターン5と6Aを比較しまして傾斜角の違いについて分析しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:03	この断層パターンの傾斜角に関しては、地震津波のリハのピークの位相については影響はないというところを確認しております。
0:27:12	128 ページをお願いします。
0:27:16	断層パターン 6 と 7 の傾斜方向の違いについて分析した揭示です。
0:27:22	こちらもさっきと同様に傾斜方向については、地震津波の第 2 版のピークの位相、
0:27:28	に大きな影響はなかったというところを確認しております。
0:27:32	また検討 4 の絵を代表に説明させていただきましたが、検討 4-B や 4-C でも同様に断層パターンに関する考察を加えております。
0:27:43	最後に 194 ページ。
0:27:46	お願いします。
0:27:58	194 ページでは 5.8 の最大ケースの波源の選定の説明となっております、
0:28:05	今まで 5.4 章の最大ケース 2 からの変更点、選定の方針の変更点について、上段で整理しております。
0:28:14	変更前の 5.4 社の最大ケースについては、地形モデルによる傾向の違いについては分析しておらず、網羅的な評価になるように四つの地形モデル、それぞれの最大ケースを選定していくという方針でございました。
0:28:29	それに対して変更後の今回説明する 5.8 との、
0:28:33	最大ケースの選定においては、地形モデルの傾向の違いを 5.7 章の評価の検討②において分析して選定しているというところから、最も厳しくなる一つの地形モデルを選定しております。
0:28:48	駆け足になりましたが、変更点についての説明は以上とさせていただきます。
0:28:58	規制庁タニです説明ありがとうございました。
0:29:02	それでは、確認に入りたいと思います。
0:29:10	ちょっと私の方からなんですけれども、何かあれですよね概要の説明の概要だとか、
0:29:17	こう充実していただけてるっていうのもわかるし、
0:29:23	例えば 9 ページとかだったらその子過去の会合での指摘事項と、
0:29:28	そのやっつることとの対応みたいなのをつけていただけてるっていうのわかるんですけど。
0:29:35	ただこれを全部をこう見ていくと、
0:29:38	何て言うのかなあ、コメン等に対してこう回答したっていう話は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:46	対応はわかりやすくなったんだけど、
0:29:51	大事な
0:29:52	度どうして、
0:29:54	こういうことをやることでその波源、
0:29:59	波源選定の妥当性を示しているのかっていうのがですね。
0:30:04	福井米、いまいちこう伝わってこなくて、
0:30:08	例えば、例えばですけど9ページで、
0:30:13	この⑤をやりたいんだと検討⑤をやりたいんだと、検討丸をやるためには、1から④っていうような下準備をやっていくんだっていうような、
0:30:23	話なんだと思うんですけども、これってな、何でこの検討1から検討4をやれば、検討後で、適切な追加解析ができるのかとか、
0:30:36	なんでこの順番でやるのが大事なのかこれって、
0:30:41	1から4って55人、検討後に行くまでのケースを絞っていくような検討をしているっていうふうなイメージでいるんですけども、
0:30:52	そういう説明って今の資料でど、どこを見れば、
0:30:59	これをやれば、
0:31:01	こういう検討をやれば、
0:31:04	波源の妥当性が示せるんだっていう説明はどこにありますか。
0:31:20	北海道電力の奥寺でございます。
0:31:26	ここでと言いますと4ページから、
0:31:30	主に5ページですけども、
0:31:33	今までどういうやりとりがあったかって言うのはやりとりありながら、我々も明確に課題を認識したっていうところの流れを、
0:31:43	示しておるのですけれども、特に5ページの5-7というところですけども、
0:31:52	これらのやりとりを踏まえて、波源の特徴泊発電所のは下の特徴として、
0:31:59	矢羽根の二つの課題があると。
0:32:02	位相変動した場合に、
0:32:06	水位が大きくなる可能性、ピークの重なり方が変わって、次が大きくなる可能性があるかと。
0:32:13	いうことと、それぞれを踏まえると、今まで水位変動量が最大のもので重ねておけば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:22	あるルールに従って重ねておけば最大ケースが出るものと推察しながら、物事を進めてきたんですけれども、移送の観点を踏まえると、
0:32:33	水位が大きくなる可能性も増えるのではないかと。
0:32:37	そういったものを決める要素として1から4の観点というのがどのように作用しているかっていうのを細かく検討する必要があるということで、
0:32:48	今の1から4を踏まえて英語の追加解析をやると。
0:32:54	そういった流れをわかりやすく示したと。
0:32:58	考えておるところです。その結果としてですね、5ページの一番下のところに書いてございますけれども、
0:33:06	追加解析を移送の観点から行っておれば、最大、ここの結果が下回っておれば、斉田伊井のものが見つけ出せているだろう。
0:33:19	仮に、移送の部分もきちんと見ておけば、上回った場合でも点がフォローされているので、結果を追加しておけば最大値がフォローされるだろうと。
0:33:32	そういう流れのところ、今のフローが、妥当性検討そのものだというふうに考えておるところです。
0:33:40	主に今までのやりとりから出た課題、課題を踏まえた着目点、そして追加解析を行えば位相変動までもきちんと見ているので最大値が探り当てられるのではないかと。
0:33:53	そういう、我々の論理頭で資料を構成してございます以上です。
0:34:02	規制庁谷です。
0:34:04	ちょっとその辺がですね、何か資料では読み取れないんですけど、
0:34:12	今追加検討をやることによって、だから追加検討やるから、何移送の重なり方を、
0:34:23	最もかさ大きくなりそうな、
0:34:26	磯の方、重なり方に着目したような検討をやることによって、
0:34:33	今それが入れ替わるようだったら、その波源を選定すればいいし変わらなければ、
0:34:39	あれですねこれまでの波源の選定が妥当なんだっていうようなそういう大きなロジックがあるっていう話なんだろうと思うんですけど、それがね多分これ見てもね、
0:34:51	よくわからないんですよ。それ今、奥寺さん、どこの部分よ読んで、そういう話をしてたのかもちょっと今資料見ながらこう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:02	聞いててわからなかったんですけど。
0:35:06	私の理解は全力を送って、はい、どうぞどうぞ。はい。
0:35:12	奥寺でございます。今私が言ったところといいますのは主に、
0:35:17	5 ページの部分ですね、4 ページでかいろいろなやりとりの中で我々が課題認識をした、その課題を整理すると 5 ページに書かれているところまず丸の一つ目のところで、
0:35:29	泊における、
0:35:31	下の特徴と課題の認識が一つ目の白丸でございます。
0:35:37	こういったところを、破線の囲みの中のイメージで、S E が大きくなる可能性としては、移送に着目した部分もあるだろうと。
0:35:48	それをちょっと明示的に示してるのが
0:35:52	真ん中のところの図の破線囲みです。これらをやることによって、
0:36:00	二つ目のマルですけれども追加解析で、今まで我々が単純に示してきた水位変動量最大にプラスして、移送の追加解析を行うことで、
0:36:12	特徴を踏まえた最大値の選定を網羅できるだろうというのが二つ目のマルです。
0:36:20	三つ目の丸が、具体的には、今までの結果を、追加解析をもってしても、下回ってれば、今までのものが最大、
0:36:32	の推定として妥当であろう、また追加解析までやって上書きされる場合も、可能性とあるのとしてはあるので、上書きされた場合は、
0:36:43	大きなものを選定すればよいであろうと。
0:36:46	主にこの 5 ページのところに、我々の考えの趣旨を経緯とともに載けております。以上です。
0:36:56	はい。
0:36:58	倉庫の 0 上の丸と下の丸との関係からそういう話をしてるってことですね。
0:37:05	なんかちょっとうんまだちょっと、
0:37:08	私、十分理解できてはいないんですけども、だったらですねまずこれをやりますよって言った後に、何でこれが検討 1 から検討 4。
0:37:20	をやった後に、
0:37:23	検討 5 をやればそれができるっていう話に、
0:37:27	なるんでしたっけ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:40	ホッカン、北海道電力の奥寺でございます。ちょっと今、えっとですね、5ページのところを主に経緯とともに説明しましたけどもそちらの方を、
0:37:51	転機に転載しているのが、
0:37:54	8ページになっております8ページのところは、似たようなことが書かれているので、説明は省略させていただきますけども9ページをご覧ください。
0:38:06	この流れでやるとというと、もともと着目している部分というのは、
0:38:12	水位変動量そのものをもう
0:38:16	大きな要素であるんですけども重なり方、
0:38:20	が、ピークとピークが重なればってところが、水位変動最大になるっていう要素だと考えているので、
0:38:29	そこを大上段の検討1で一番着目する点だろうと考えてございます。また津波の推定の地形の変動を大きく受けるということは、今までの解析結果からもわかってきているので、
0:38:43	そこら辺の要素についても、ピークとピークの重なり
0:38:50	次の段階に持ってきているということです。
0:38:54	あと3と4については、細かい波源の検討になってきますので、1或いは2というようなものよりは、後段の細かい検討になるであろうということで1から4の流れを作っております。
0:39:08	その結果として、大きな要素も包絡したような形で、候補を
0:39:16	選定したものでA層というものをみていけば、大きいものがえられるだろうと追加解析として大きい結果っていうのはえられるだろうと考えておましてこの流れを作っております。以上です。
0:39:43	はい。
0:39:47	何かこれあれですね。指摘事項とこう合ってるっていうのもわかるんですけども、
0:39:54	いやこれをやったら十分なんですよみたいな。
0:39:57	そういう何て言うのかな、発想。
0:40:04	が何かよくわからないんですよねこうやって絞っていくんだけどここに着目してたら十分なんですよ。
0:40:12	いや、十分なのかもしれないんですけども。
0:40:15	そこが、何て言うのかな、考え方。
0:40:18	として、今口頭で言われた古藤になるのかもしれないんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:24	まずコードどういう作業仮説があって、
0:40:28	こういった検討をやっているのかっていう小中入口の部分です、もうちょっとちゃんと説明。
0:40:35	概要の中でも説明していただけたらなというふうに思うんですけども。
0:40:43	これ北海道電力としてこの項目をこういった目で見れば、
0:40:49	適切なところ追加検討ができるんだよっていうような説明。
0:40:53	だと思うんです。
0:40:57	それ今これで十分書いてるんで、
0:41:00	ってことなんですか。
0:41:04	北海道電力奥寺でございます。
0:41:07	等ですね。
0:41:10	ちょっと私の説明がわかりづらかったのかもしれないですが、4東郷ってところは経緯で、前段で似たようなことを書かれているので、
0:41:21	例えば8ページの部分は、説明を、同じことなので、省略してしまったってところで、しゃべりの流れがわかりづらかったのかなって少し今認識したんですけども、
0:41:36	流れとしては8ページに書かれている概要ってところで、
0:41:41	代表的なものを分類して中間報告した時の特徴が見えてますよそうすると、
0:41:48	次の8ページの3マル目になりますけれども、
0:41:53	課題、水が大きくなるあのね、船戸さん、工藤さんの話、わかりにくくはなくて、言わんとしてることは、そうですね、伝わってるつもりなんですけど。
0:42:06	あのね多分これか、考えをちゃんと書いてくださいっていうのが僕は言いたいことで、なんで検討1から検討3、検討4っていうのをやって、さらに検討をやればいいんですか。これこれやることによって、
0:42:20	波源として、重なり合った時に組み合わせあったときに、大きくなるようなものはこう潰せるんですっていう、そういう
0:42:33	何て言うんですかね、考え、どうどうして、
0:42:36	こそ、それを取すんなんていうんすかね検証するとか、それを確認するためにこういう流れになるのかっていう部分をですね、ちゃんとこう書面でもわかるようにしていただきたいんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:50	それ、項目と順番と、目的っていうのはある程度書いてるような気がしたんですけれども。
0:42:59	何て言うのかな作業。
0:43:02	にあたっての
0:43:05	うん。仮設というかそういう部分をちゃんと説明してくださいっていうことなんですけれども。
0:43:14	伝わってますか。
0:43:17	これね回答できない。はい。
0:43:21	どうぞ。
0:43:24	すいません北海道電力の青木です。
0:43:27	9 ページのところの詳細な検討 1 から 5 に関するところの回答方針の前段のところ、まず追加解析やるっていうところは前のページで整理していて、
0:43:39	その追加解析をやる条件を選定するにあたって、
0:43:43	位相の変動を考慮して最も厳しくなるケースを選定するっていうところが一番重要であると考えていて、最大ケースになろうであるケースの、
0:43:55	条件として、今回検討 1 から 4 を順番に検討していったるっていうところがあるんですけど、それを何で、
0:44:02	次やってるかっていうところが、具体的な考えが書いてなくて、
0:44:06	位相変動を考慮したケースの中で最も厳しくなるであろう波源を選定するっていうところが大きい目的になってますのでその部分に関する記載が足りないというふうに認識しております。
0:44:19	そういった方向で記載の適正化を図ることかなと考えております。以上です。
0:44:26	井谷です。
0:44:27	そうですねだからこれ入口の本当の入口の部分で、これ北海道電力の考えがしっかり書かれていないと、多分ですね介護でその考えがよくわからないんですけどっていうのから始めると、
0:44:40	全く意味ないような会合になってしまうっていうのをですね、ちょっと認識していただけたら結局、さ、最初のこのなんていうのか 8 ページで書いているようなことと、
0:44:53	筒井でついでに過疎セットでこの 1 から 5、その考えが、何て言うんですかね、交付両方合わさって、妥当性が説明できるんだっていうのを、
0:45:05	そこの考えをまず、ちゃんと示してください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:11	それは、あのさ、最初の入口として、
0:45:15	まずお願いします。
0:45:22	北海道電力奥寺でございます。記載について検討いたします。
0:45:28	追記等を検討いたします。
0:45:31	はい。
0:45:32	ですすねちょっとこの上昇側の方からさ、先に話を進めていきたいんですけども、
0:45:39	何か上色のこの、この入口の部分とかで、
0:45:43	確認したい人はいませんか。大丈夫ですね。
0:45:47	続いて検討1で何やってるかとかそういうのを検討一つずつ。
0:45:53	確認していきますけど、
0:45:56	検討①って、
0:46:01	と重なり方を分析しましたっていうような話があって、検討1のまとめでどこにありますかね、検討①。
0:46:10	Aでいいんですけども、
0:46:15	まとめのページってどこでした。
0:46:18	北海道電力の青木です。円筒1については109ページから112ページで整理しております、最後の112ページがまとめとなります。
0:46:39	うん。これあれですよ水位が大きくなる時はこういう場合で大きくなってますよっていうような説明わかるんですけども、ここで最後2行。
0:46:49	これ次の検討②に進むための検討②っていうのがこっから条件分けされるっていうことなんですけれども、
0:46:57	これだけを確認すればいいんだっていうような、
0:47:01	そうそういうこうまとめになってないような気がするんですけども、これはあれなんですかねこの。
0:47:11	川白の一派買わしらは、一派だけを、のを見ればいい、地震は一般も2羽も見なければいけない。
0:47:21	で、その
0:47:23	ほかの例えば川白の2は目は見なくていい。
0:47:27	地震のサンパ目を見なくていいっていう、そういう理屈ってコードどう考えたらいいんですか。
0:47:41	藤北海道電力の青木です。
0:47:44	110ページに、検討①の考え方、検討方針をまとめておまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:51	まず目的というところで、松波地震の津波と川白のピークの重なり方が重要なので、関係を確認しましたというところを書いております。
0:48:01	その中の検討内容のところ、まずは形を比較するってのやっているとこになりまして、
0:48:08	二つ目の丸で、組み合わせのピーク、右図の黄色ハッチングは大南派でピークになるかを確認しております。
0:48:15	でそのピークが、地震の津波のピークと川白のピークの大南派と地震津波の第7は集まって生じているかを確認すると。
0:48:25	いうところで、最も大きくなるものについて、どのP E E Kとどの日が重なっているかというところを確認しております。
0:48:33	その結果の方がまとめの方に行きまして、
0:48:37	10日はしらの一般のピークと地震津波の2羽のピークが重なる場合か。
0:48:42	柱一波と地震津波の一派が重なる場合のこの二つのパターンで、最大ケースが出ているというところを確認したというところになります。以上です。
0:48:55	井谷です。いや
0:48:58	今重なっているのがそういうものですよっていう説明は、
0:49:03	ここのここの、何て言うのかな、111ページのケースで言うと、
0:49:09	今重なってるピークはこうなんですっていう説明だと思っんですけども、
0:49:14	じゃあそのずらしたときに重なるルーかもしれないとか、そういうことはこうなんか、
0:49:21	読めないんですけどそれをどう考えてるんかっていうのは、
0:49:28	何か書かなくてもいいんですかね。これ、これ聞きますけど、実際これ、こういう中、111ページのようなもので、
0:49:40	やるとこうなってますけど本当に他の波源で3%でピークになるようなものはないんですかとか、
0:49:46	そういうこう着目点でこれ別に全部解析しなきゃいけないとかいう話じゃないと思ってるんですけども。
0:49:58	なんかこう、
0:50:00	他は。
0:50:02	もう、
0:50:03	切り捨てていいですよと、次の検討に進むのについていう、
0:50:07	そこがね何か、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:09	見ててわからないんですけれどもこれは、
0:50:14	それとも、
0:50:16	こういうのがまず、まず一番最初に確認するようなものとして、
0:50:22	こういう、
0:50:24	二つの、
0:50:25	家、
0:50:26	112 ページで書いてるような、
0:50:30	ここ、これに、
0:50:32	まずやってみる。
0:50:34	とかそういう意味なんですか。
0:50:40	他、二つだけ2倍するのでいいんですよってというのがよくわからないんです。
0:50:58	少々お待ちください。
0:51:20	北海道電力奥寺でございます。
0:51:24	もう一度、趣旨を確認させていただいてよろしいでしょうか。すみません。
0:51:31	今おっしゃってるところが少し理解、
0:51:35	恥ずかしながら理解できなかったのをもう一度言っていただけるとありがたいです。はい、谷です。これってあれですよ。
0:51:46	宣言なんですよ。今後の分析は、第1班、川白の第一波のピークと地震に伴う第2版のピークの分析を今、これこの後はやっていきます。
0:51:57	地震、川平一波と地震一般のピークのについて分析をやっていきます。
0:52:05	ていう宣言なんだけど、
0:52:09	他が、
0:52:10	ほか3%のお話とかはやんなくていいんだっていうふうなのがこう見ててわかんないんですけれども。
0:52:18	そういう説明じゃない、ないんですか。
0:52:22	これだけやっとならばいいっていう話をしてるんですよ。北海道電力は、
0:52:35	ちょっと私が勘違いしてるんだったら言ってください。
0:52:38	当北海道電力のアオキですと112ページのまとめのところで、
0:52:44	大きくなる可能性がある条件として、柱一派と地震津波は基準津波の一波のこの二つの矢羽根で示したものが一番大きくなる条件として考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:55	その中でそれ以外のピークとピークの組み合わせの種類があると思うんですけど、その検討は不要だというところが、この資料から読み取れないと。
0:53:05	優秀強いなのでその点について記載が必要だと、いうふうな受けとめ方と考えております。
0:53:12	このような、
0:53:14	認識で。うん。そうしてもらったらいいんですけどもどういう考えなのか、今わかるんだったらもう確認させて欲しいんですね。
0:53:29	ちょっといろいろ確認したくて今日時間も限られてるんで次に進めましょうか。
0:53:35	何か、簡潔に答えるんだと今答えていただけたら
0:53:39	北海道電力奥寺です。
0:53:42	なぜ不要かというところですけどもともと水位変動量大きいものっていうのが1から20っていうことで大枠わかっているんで、水位変動量が大きいものから、
0:53:54	重なる重ならないの検討を、110ページのように、やっておけば、重なる可能性のあるピークはどれだっていうことが111ページのようにわかりますので、
0:54:05	最終的にどうなんだっていう結果として、いろんな第3%第4%もありますけども、それを全部見たときに、水位変動量の大きいものでずらしていったときに一派かには大きくなる可能性があるということで考えてます。
0:54:20	以上です。
0:54:21	井谷です。ちょっとわかるようにしていただいた方がいいですね。それで、今ちょっと調整官の名倉コメントがあるというので、
0:54:32	どうぞ、名倉さん。
0:54:41	はい手が挙がって、はい。
0:54:48	奥寺です何か今おっしゃいました。ちょっとね、調整官の方から、
0:54:56	ちょっとコメントしたいっていうのが来てて、今手あがってるんで、
0:55:01	調整官 $\mu$ となっておりますけど。
0:55:17	今ですね、
0:55:19	名倉調整官しゃべっていただいたらいいんですけども、どうやらこうミュートのマークがついてますけど、今消えました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:55:36	もしもしオクデラでございます。ちょっと音声の方聞き取れないんですけども、
0:56:18	その間にです。
0:56:21	今
0:56:23	ちょっと通信状況悪いみたいなので、
0:56:25	調整可能しゃべりそうになったらいつのタイミングでもいいので、声出していただけたら止めますので、お願いします。
0:56:38	北海道電力に私の声は聞こえていますか。
0:56:43	オクデラでございますよく聞こえております。
0:56:49	オクデラです私の声聞こえておりますでしょうか。はい。問題ないですよ。よく聞こえてもあ、はい。
0:57:26	はい。続いて、もうどんどん検討にとか内容を確認していきたいんですけども。
0:57:33	検討②っていうの地形モデルを選びますと、
0:57:40	これ水変動量が大きくなる可能性があるモデルを選びましたっていう話なんですけど。
0:57:48	これもねよくわからなくて、
0:57:52	これ、
0:57:53	水位が高い分だけを、増井変動量が大きくなるものとして見ていいんですかっていうのは、これは何か今、
0:58:03	読んでてわかんなくて例えばこれ、116 ページですよ。
0:58:13	一番水位が高くなるもの。
0:58:18	ここの、
0:58:21	条件としては、あるとしてですよ、2 番目のものが何か
0:58:26	重なり合い方によっては、急にこうもっと高くなるとか、そういう可能性はないっていうふうに考えてやってるのか、それとも、まずこの
0:58:38	ここで選ばれたものをやった上で、結果を見て、必要に応じて2 番目とか3 番目とか、そういうのをやっていこうとしているのか、っていうのがよくわからなくて、
0:58:49	結局この、今、検討②に、
0:58:54	代表させているものだけをやればいいっていうのがですねいまちょっとわからないで、もう一つは多分これって、
0:59:03	重なるタイミング。
0:59:05	が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:07	もうちゃんと確認してるんですね、タイミングが、時間が一緒ぐらいだから。
0:59:12	おなじことがいえるんだとかそういう話なんですか、ちょっとその辺確認させてください。
0:59:25	当北海道電力の青木です。
0:59:28	検討に関する事項というところで、
0:59:33	実際、デジタル値のところで大きくなってると確認してその条件をもとに、後段の検討ケースっていうのを決めてます。その中でまとめのページが 120 ページ。
0:59:45	になってきておまして、
0:59:48	すいませんまとめに行く前に 118119 で、
0:59:53	あとは計画にして大きくなったケースを確認した上で、118119 ページで、スナップショットで、地形モデルごとにどういった B q になってるかっていうところを確認して、
1:00:04	その結果、大きくなって理由がわかるところについては明確化しているところになります。
1:00:10	その中で 120 ページがまとめになりまして、
1:00:14	3号取水 12号取水とかだと、こういったメカニズムで水位が大きいついていうところを確認したのでその地形モデルを選定するところを書いております。
1:00:23	この中で放水工については注釈でも書いておりますが、健全地形モデル 損傷高齢者地形も 0102、NHKモデルによっては形に対しても大きな差はなかったというところがありますので、
1:00:37	この検討としては検討を当て三省高齢者地域モデル①でこれ以降の評価をしていけば、他の地形モデルも同様な結果になるだろうという想定のもと、
1:00:48	資料まとめております。以上です。
1:01:02	はい、井谷です。
1:01:08	筧も一緒だからって書いてるんだ。
1:01:26	ちょっと待ってください。ちょっと待ってください。
1:01:30	武井が一緒っていうことで、
1:01:33	重なるタイミングも一緒っていうことを説明してるってことですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:43	北海道電力の青木です。この資料中で、有意な差はないとかそういった表現になってるんですけど結構ちょっと詳細に説明しますとは形見た上で、
1:01:54	大井層もほとんど一緒でただその水もほとんど一緒ってところの意味合いが有意な差はないになってますのでその観点わかるように、記載の適正化を図りたいと考えております。以上です。
1:02:07	はい。
1:02:09	これはあれですかネダ代表できるっていう話で説明してるってその事実関係はいいんですかねこれ、これだけをやっとけば、
1:02:20	いいんだっていいことですね。
1:02:23	他の地形モデルで、
1:02:31	逆転するようなことはないんですってそう、そういうことでいいんですか。
1:03:00	北海道電力の青木です。当社の考えとしましては、
1:03:05	116 ページのハ系の見る限り、
1:03:08	有意な差はない。対時刻歴は径の大きさもほとんど一緒、総務費、ほとんど一緒ってところで、この中で、どれが一番厳しくなるんだっていうところ。
1:03:20	については、ほぼ差はないだろうというふうに考えております。そういった考えのもとで、地形モデルを代表させて一つの地形モデルで、以降の検討を実施しているというところになります。
1:03:32	以上です。
1:03:40	何かそれだったらちょっと説明が 120 ページの説明なんか違うような気がするんだけど、何かこの検討の話として代表できるって話なのか。
1:03:50	いやいやこれだけが、その大きくなる可能性があるんだって話なのかって何かいまちょっと。
1:03:57	伝わってこなくて今の説明を踏まえてちょっと私の方も考えてみますね。
1:04:03	江藤。
1:04:05	調整官。
1:04:07	いいですか。
1:04:09	今もう手、手挙げられてないですけど、
1:04:12	もし、はい。はい。はい。ちょっと今、今の件も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:16	ちょっと今の件で、ちょっと例示となるかもしれないのでお話しすると、
1:04:23	116 ページ
1:04:26	この地形モデルを選定する理由は、
1:04:35	おそらく傾向がほぼ一緒なんで、これで代表できるってことなんだけれども、
1:04:42	一方で、
1:04:45	9 ページ
1:04:48	ところですね②のところ検討②のところを書いてあるのは、
1:04:55	水変動量が大きくなる可能性のある地形モデルを分析選定すると。
1:05:01	ということなので、
1:05:04	ちょっと選定の観点が違ってんじゃないかな。
1:05:09	と思いますが、
1:05:12	モデルによって、
1:05:15	結構がー。
1:05:18	異なる点で点で見ますよと言っていること等、ここで言ってる分析選定すると言ってる地形モデルが一致してるかどうかというの、
1:05:28	わからなかった。
1:05:31	わからない、理解できないということなんです、それでちょっと資料、書いてあることをやっぱり、
1:05:40	理解したいと思って読むんですが、ちょっと理解できないのが、特に9ページのところで、
1:05:47	検討①から⑤までをやっていく流れの中で、
1:05:52	それぞれの検討①②③、
1:05:56	がー、
1:05:57	越冬ちゃん等、何て言うのかな、要因分析的なことをやっていて、ちゃんとそこで選ぶものを選んでるかどうか。
1:06:07	それがですね後ろを見てもう、あんまり分析とか考察が書いてないので、結果の羅列であって、
1:06:15	本当にここに言ってることがやられてるかどうか読めない。
1:06:20	それが④⑤にどうやって展開されてるのかって、いきなり④⑤が、何て言うのかなたくさん物量が出てきてですね。
1:06:30	やってることが、①から③との関連で、
1:06:34	なんで④と⑤を、こういうことしなくちゃいけないのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:40	特に④ですね。
1:06:42	こちら辺が関連づけがなくて、やってることの羅列だけなので、
1:06:48	なんでこれで、
1:06:49	コメント回答の目的、妥当性の説明なんですけど選定の、
1:06:55	これが目標を達成しているのか。
1:07:00	要はここに合ってることの考察が、
1:07:03	やったことの羅列だけ書いてるので、後も前も、
1:07:09	どういう考察をしてどういう結果でどういう結論に至ってるのかということが、中間的な内容とかが一切見えないで、
1:07:18	やったことだけを書いて、かつ、結果だけを書いてるから、
1:07:23	これでいいかどうかは少なくとも概要のところで読んでいただければわからないし、
1:07:29	それから後ろの方も読んでいても、解釈を加えないと、部分的な解釈を加えないと読んでいけない。
1:07:38	ただし、部分的に解釈をしようとしても、補いきれないで消化不良になってどんどん先のデータが出てきて、
1:07:47	そういう意味で、ちょっと資料として、
1:07:52	北海道電力はどういうことを考えて、何をしているのか。
1:07:58	これが本当に目的を達成するために十分な内容なのか。
1:08:03	応札とか確認内容も含めてちゃんと
1:08:07	これを、次繋ぎに読んでいけるかどうかってのはちょっと、
1:08:11	私自身まだ読み取れないところがあるんですけども。すいません理解できない。これ解読するのに1週間以上1週間じゃ足りないような感じがして、
1:08:23	もうちょっと資料を改善していただかないと、
1:08:28	これー、
1:08:30	わかりません。やってることが、ただ単にやってることだけの羅列なんですかね。
1:09:07	少々お待ちください。
1:09:59	規制庁ですけども資料をとじてもらっていいですよ。で、何かしゃべられてるのか、考え中なのかっていう方、見える方がいいですね。はい。
1:10:11	北海道電力、奥寺でございます。
1:10:15	ちょっと概要は概要で、概要は詳しいところから落としてきて、なるべくわかりやすいようにと我々なりに考えているところなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:26	今、調整官或いは谷さんがおっしゃってることを、
1:10:31	私が受けとめたのが合ってるかってないかなんですけれども、ここに書かれてるのは、こう、こういうことをやった。
1:10:41	こうになりました的に見えると。なので、
1:10:46	それぞれの町で、或いは分析で、
1:10:51	こういうことをやりますこういうことを、結果が出ましたこれはどう読み取っています。
1:10:58	次ステップに向けて、どういうつながりを考えていますというようなところを、それぞれまとめ名なりにきちんともうちょっと丁寧にか。
1:11:08	書いたか書かないとわかりづらいというような、
1:11:13	具私が具体的に、今のやりとりを聞いて思ったことでそういう解釈。
1:11:20	そういう考え、そういうことをゆ、おっしゃってる趣旨のことをおっしゃってるということで、
1:11:25	よろしいでしょうかちょっとお伺いになるんですけれども、今私はそういうコメントに受けとめたのですけれども、
1:11:32	いろいろよろしくお願いします。
1:11:41	タニですけど、私のまず答えますとそれは、まず必要なことなんですね。で、もう1点言うと、北海道電力これ大、この間のヒアリングでも同じ話出ました
1:11:55	代表するような波源を使って、分析をして、そこからいえることってどこまでのことがいえるのかとか、そういうのが、
1:12:06	それ、化をどこまで適用できるのかとかそういうこともですね、分析からどこまでわかってるから次のステップに進めるのかとか、
1:12:17	その繋ぎの部分、或いは分析自体のそのまとめの部分、この辺がですね、非常にわからなくてこれで十分なのかなっていう
1:12:29	疑問が資料見てて、実際のところは空いてるから、今の私の確認のような話が出てて、
1:12:39	1から2例えばその2から3に進むというのが、
1:12:42	もう何かそう想像しないときこういう考えなんだろうなっていうのがわからないっていうところなんですね。
1:12:48	で、そこはちゃんと説明していただきたいということでお願いしたいんですけれども。
1:12:55	これでやっぱり十分こう説明できてるって北海道電力として思ってるんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:02	これ、これはあれですよ前回のヒアリングと言ってることほぼ一緒ですよ。
1:13:11	北海道電力奥寺でございます
1:13:14	ウーよ。今までのやりとりにこたえるべく、そう思いながら、今回の資料を作っているんですけど来た
1:13:24	答え、答えていないと思いながら作っているわけではないのですけれども、
1:13:30	今少し私具体的にこういうことが必要だ、或いは読み取りが足りないっていうことそれ一でも仰られるということは、
1:13:41	ものがまとめのところで足りないのかなということ、そこら辺、今のやりとりで、感じたところですので、治療改善しろということですので、
1:13:53	検討したいと思います。
1:13:55	以上です。
1:13:58	はい、谷です。そうですね。ちょっと、
1:14:01	結果と何かこうやりますって宣言は、
1:14:05	入ってるんですけども、何でかなってというのが、
1:14:09	やっぱり説明足りてないってというのが、我々、資料見てて、
1:14:14	思うところです。
1:14:19	続けていきますけれども、
1:14:26	ですね。
1:14:32	あとは金藤さん検討4ってというのはあれですかね。
1:14:42	何かこれは、
1:14:44	検討3と検討4ってというのは分けてるけど、
1:14:49	何かセットで考えるような話なんですかねちょっとこの検討3と検討4が、
1:14:58	何かを、
1:15:03	あと、
1:15:05	どどどという高位置付けなのかちょっと教えてもらっていいですか、検討3ってというのは、あくまで代表させた。
1:15:13	話をしててそれをちょっと、
1:15:15	ではその他のパターンであればどうなるのかっていうのを検討読んで、
1:15:22	ちょっと深掘りしてって、
1:15:26	するっていう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:28	話なんすかねなんかこう、もうほぼ二つセットの話なのかなとか思って読んでたんですけど。
1:15:41	北海道電力の青木です。
1:15:44	当検討3の位置付けっていうところは大きく波源の分析選定、一方検討4の方だと断層パラメータの分析選定で、波源、
1:15:54	ていうのも断層パラメータの組み合わせでは下になってるのでその辺りの違いが読み取りづらっていうようなコメントかなと思っております。この当社の位置付けとしましては検討3については、
1:16:06	地震に伴う津波のケースの最大ケースのケース①から⑳をもとに分析しているというところは、
1:16:14	衛藤、位置付けとして違うというところになります。その中で検討4の段階だと、ケース1から20っていう枠組みを飛び出して他の断層パラメーター、
1:16:26	で変動させたものについても分析しているという流れになります。
1:16:30	また検討4においては、
1:16:33	断層パラメータを変動させた検討ってというのが、江藤日本海東縁部の前の審査で用いたパラメータスタディのケースを実施しているので、そのケース、
1:16:43	たくさんありますのでちい代表させて、
1:16:47	そのケースだけ分析するって位置付けで先に検討3、
1:16:50	禿げを分析して、
1:16:53	選定したものについて検討を呼んで、プラスパラメータ変動させた影響を確認しているとそういった位置付けとなります。以上です。
1:17:03	はい。関係は、何となく説明聞いてわかったんだけどこれってだから検討4に行くまで、北海道電力の整理としては検討4に行くまでが、
1:17:14	この①から⑳だけの話をずっとしてて、
1:17:19	それ以外からも漏れがないですよっていう話を検討④にならないと。
1:17:25	始まらないってことなんです。いや、ちょっと僕そこがまずわかってなかったのかもしれないんですけど。
1:17:31	検討①火炎等②っていうのは、
1:17:37	どこの範囲の波源に対していえる結果なのかっていうのが、
1:17:41	何か言い、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:17:43	よくわからない検討1で選んだもの、①で選んだものに対してだけ言う 得るのか、いやいやそうじゃなくて他のことに対してもいえるんですよ っていう。
1:17:53	話を。
1:17:55	いや僕なんか、そ、それがないと何か網羅性、網羅性というか
1:18:02	波源選定が妥当かっていう話が、
1:18:05	何かできない気がちょっとしてただけけれども、
1:18:13	だからそれは、何か
1:18:17	解析をして示すんじゃなくて北海道電力としての考え方が、一つ一つに 入りそうな気がしてたからちょっと先ほどから聞いてたりしたんですけ れども。
1:18:29	これはどうな検討④で初めて、他の派遣、
1:18:34	0ケース①から⑳以外を意識し始めてるっていうような、
1:18:40	その説明を始めているっていうような、そういう作りで、
1:18:44	資料作ってるってことなんですか。
1:18:50	北海道電力の青木です。
1:18:53	当検討4からケース1から20以外の波源について分析しているものに なります。
1:19:00	こういったこのような検討の順番になったかというところで、
1:19:07	最終目的は検討⑤で追加解析をやるというところになるんですが、それ の前段階の処理っていうところで本当に波源位置の変動が効いているの かっていうところを、
1:19:18	検討を呼んでしっかり分析したというところになります。
1:19:21	また検討4をやるにあたってどのケースを対象にするかっていうところ が、
1:19:27	これも決めるのが難しいというところもあって、検討①から検討③のケ ース1から20っていうものを用いて、条件を順番に選定して分析して 選定していたという流れとなります。
1:19:42	以上です。
1:19:45	井谷です。はい。考えは確認しました。でも何かおかしいなと思うの が、
1:19:54	検討1から検討3で見てることと検討④で、
1:19:59	じゃあ他の波源はって言ってることって全然違うことを言ってるん。
1:20:04	いうふうに見えて、いわゆる検討1で言ってることを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:12	何か項目が違うんですねじゃあ、じゃあ他の対象を広げて考えてみま すよっていう検討があるよと。
1:20:21	1 から 3 っていうものの関係が、
1:20:25	そそこが、
1:20:28	私資料を読んで、
1:20:31	わかりにくかったんですけども何かこの辺、
1:20:37	検討 4 で、パラメーターの分析選定だけは他のケースでやる、やるって いう、
1:20:45	それでいいんだよっていう考え方って、どんな何に基づいてるかって。
1:20:51	何か簡単に説明できるんだったら、説明、
1:20:55	していただけたらと思うんですけど。
1:21:01	北海道電力奥寺でございます。
1:21:04	まず前段の方で 1 から 20 をやっているっていうのは、
1:21:10	1 から 20 っていうのはもう、地震の津波として水位が大きくなるって いうことがわかってるそこはわかっている。
1:21:18	ものなので、
1:21:19	今課題となっている和田、我々の課題認識としては水位が大きくなる可 能性というのは水位変動量そのもの、もしくは位相のずれで重なりが変 わること。
1:21:31	その二つの要素があると考えているので、もともと水位が大きいという ウーのがわかって 1 から 20 でその検討を前段で行っておけば、
1:21:42	後段の細かい、県とウーの要は当たるであろうと、そういうような考え のもとで 1 から 4 まで流して最後、追加分というのを絞り込んでいると いうような、大きい考えとしてはそういうところになります。以上で す。
1:21:59	書いてあるんです。ちょっと、多分そこをね、丁寧に説明してもらった ら私、
1:22:05	ここはこの検討な中身でいいのかなって思えるのかもしれない、
1:22:11	だから最初に言って、検討 1 から 4 やることで、どういう考えでこの
1:22:18	よしとできるのかっていう、そこをちょっと、
1:22:23	うん。説明いただいたら、
1:22:27	何かもう少し考えてみますよ私もちょっとやりとりしてるんだけど、す みません理解できないんだけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:36	やっぱり谷さんおっしゃってる通り、①②③の検討で徐々に狭めている んですよ範囲を、
1:22:45	だから波源の分析選定、
1:22:49	③でやっていることっていうのはもう幅を狭めている中で、
1:22:54	第2はの影響が大きい第2芳賀高伊波の波源は何だっていうことだけに 終始しちゃっていて、本来やらなくちゃいけないのは、①②③っていう ふうに、
1:23:06	ここでやることについてはそれぞれ独立しているはずなんですよ。
1:23:10	③の波源の分析選定も、
1:23:14	波源のパラメータによる傾向の違い、これをちゃんと分析しないといけ ないのに、それやってなくて④でやってるように見えてしまっていて、
1:23:23	そういう意味で①②③がどうやって④に繋がっているのか、すみません けれどもこれ。
1:23:29	理解できなくて、理解できないというか、おかしい、はっきり言って。
1:23:34	このような状況で①②③は今までやってきたことをただ単に羅列してる だけで、
1:23:40	これをベースに④⑤やりますといっても、
1:23:44	なんでこれで十分か、目標が何で達成できるのかっていうことが、
1:23:49	申し訳ないですけど、ここでは説明として理解できません。
1:23:55	もう正直に言ってしまいます。
1:24:26	規制庁サグチですけど、
1:24:28	ごめんなさいいろいろコメントを出て、確認されてるので、その
1:24:35	分については、ちょっとお答えをいただきたいと思うんですけど。
1:24:39	ごめんなさい本当に、私もすごく初歩的というか基本的なことを確認を させていただきますけれども、
1:24:47	結局、
1:24:50	今回どういう形で示すかって、
1:24:54	じゃあ、私は少なくとも大きく二つあるとっていて、
1:24:59	あくまでも御社の説明の内容に基づいて、
1:25:06	ではありますけれども、
1:25:09	泊の
1:25:10	日本海東縁部っていうのが、当然いくつかパルスがあって、今の川下の 地すべりとの組み合わせを考える上では、
1:25:21	日本海東縁部の地震の第一波

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:25	第1パルスっていうんですかね、と第2版のところ、このこの二つが基本的には頭のピークと重なるまず可能性があると。
1:25:38	いうところで、じゃあ、どの波源ですね。
1:25:42	波源というのが、この第一波なり第2はっていうのが、
1:25:46	川路らの台場と重なる可能性があるのかないのかというのがまず最初にあって、
1:25:55	それを、第一波と重なる可能性。
1:25:59	もしくは第2はどう重なる可能性っていうのを、
1:26:03	それぞれ、
1:26:04	AとAとかBとかCとかって分けられてやっていますけれども、
1:26:09	AとかBとかCっていうのは着目する評価点。
1:26:13	の違いというだけで、
1:26:15	それを順番にやっていったときに、幾つか、その可能性がある波源がありますと。
1:26:22	なったときに、
1:26:24	その波源が、
1:26:26	どれが、
1:26:27	じゃあその重なる時間ですね。
1:26:30	波源単体の。
1:26:33	要はピークの、
1:26:35	波の大きさではなくって、重なる部分の、
1:26:41	波源の、
1:26:42	大きさですよ、上昇側で言えば、
1:26:45	というものがどうかというところが、ちゃんといろんなこの今の分析でできているのかどうかと。
1:26:53	いう観点で、多分この、
1:26:56	2点ですよ。重なる可能性があるのかないのかっていうのと、
1:27:00	笠名、重なるとしたら、その部分が、
1:27:04	どれが一番大きいのかと。
1:27:07	それに対して、それぞれ分析ができていいのかでき、できていないのかっていうので、
1:27:13	今の分析で十分だと思えば当然ながらそういった、
1:27:18	大きく2点に着目して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:20	ご説明いただければいいと思うんですけど、それが先ほどからいろいろ確認している上でですね。
1:27:27	よく資料からは読み取れないとか、そういうコメントもあったと思いますので、そこはきちんと対応していただきたいと思う。思いますけど、少なくとも今の私の
1:27:40	大きくこの2点に着目すればいいという、
1:27:43	まあ、考え方っていうんですかね、その部分っていうのは御社と、
1:27:48	まず共通の理解でよろしいです。
1:27:58	北海道電力奥寺でございます。今、今、佐口さんおっしゃった古藤は、
1:28:06	すみません資料が、
1:28:09	理解しづらい。
1:28:11	というご指摘なんですけども素行は説明しているつもりで、
1:28:16	各パーツのところで説明しているつもりでございます。それ、それがわかりやすいわかりづらいかっていうところは、
1:28:25	ちょっと
1:28:27	いただてるコメントでわかりづらいということなのかもしれないですけどそういう認識でございます。
1:28:39	はい規制庁佐口ですすみません私がわかりやすい形わかりにくいはこちらと別に少し置いて、
1:28:47	いただいて、
1:28:49	すごいですよ、すごく私頑張っって、御社がこうなんだろうと推測しながら、
1:28:56	読んでいけば、何となく流れはわかるんですけど、ただし、
1:29:02	先ほど、
1:29:03	申し上げた2点、まずは、
1:29:07	重なるか重ならないか。
1:29:10	それぞれ第1ピークと第2ピークですか、日本海東縁部。
1:29:17	これと、
1:29:18	重なったという場合に、
1:29:21	どの波源が大きくなりますかという、その
1:29:26	2点。
1:29:27	ここに注目されて、検討をされているという理解でよろしいですかという、そこを共通認識合ってますかという、
1:29:36	まずそこを確認をさせてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:42	と北海道電力の青木です。まず1点目の重なるかどうかというポイントについては、検討①から検討⑤で言いますと検討①のところで、
1:29:55	分析選定しているという説明だと考えております。その結果の中で、買わしらの一派と地震津波の2は、もしくは川白の一般と地震津波の2は、
1:30:07	のところが重なるところでは、無水が大きくなる、重なってかつ水が大きくなる条件として選定していると考えております。
1:30:15	2点目の、集まった後に水位が大きくなるものの条件がどうかというところは、当検討2と3、
1:30:24	のところで整理していると思っております。具体的な検討2では、重なって水位が大きくなった条件、
1:30:31	になるものを選定していった検討3では波源としてどうかというところを確認しております。
1:30:37	また検討④の観点だと、ここでまた、波源位置移動させると重なるかどうかが変わってくるというところで、ここは大きいところは、
1:30:47	重なるポイントを、1点目の、
1:30:50	ところの対応かなと思っております。その中で、増井についても、大きいものというものを選んでるかと思っております。
1:31:00	以上です。
1:31:08	はい。佐口ですけれども、規制庁サグチですけども、
1:31:11	多分ですね、やっぱり今のご説明だと、
1:31:15	やってることをご説明されてるだけなんですよ。
1:31:18	なので、少なくとも我々がこれまで求めている。
1:31:23	こういうことを示してください。
1:31:27	これまでの、
1:31:28	一連のこの前、全部分析出揃ったわけですから、
1:31:32	この分析結果から、
1:31:34	影響の大きい波源がどれなのかというところを、
1:31:38	ちゃんとですね。
1:31:40	論理構成、
1:31:43	というのを、ちゃんとこの分析結果からきちんと導き出して示してくださいよと。
1:31:50	それコメントしてることに對して、やっぱり答えられてない。
1:31:53	と思っておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:55	1 個ですね、ちょっと細かいことですが具体的に、
1:32:00	言いますと、例えば 125 ページで、
1:32:03	今日少しご説明はありましたけれども、
1:32:07	この 125 ページの真ん中の備考の欄の、
1:32:11	上から三つ目の丸、断層パターン 1348 については、
1:32:16	先の結果に包絡されると考えられることから、検討対象外とする。これ ってちょっと、まずどういう意味なのかこの包絡されるというのがまず どういう意味なのかというのと、
1:32:28	何をもって包絡されると。
1:32:31	言っているのか。
1:32:34	その下にもありますけどアスペリティの位置についてもですね、
1:32:38	ここが、
1:32:39	まず、
1:32:40	エビデンスはともかくとして、御社の考えが一切記載されていないくて、
1:32:47	こうこうこういう理由で、
1:32:50	先の結果に包絡されると。
1:32:53	書いてあればまだいいんですけども、何もなくてですねいきなり包絡さ れるっていうと、
1:32:58	まず何が崩落されているのかっていうのと、
1:33:02	なんでそういうことがいえるのかって、全然わからないんですよ。
1:33:05	それが
1:33:07	これまでももう結構
1:33:09	言っている論理構成の部分であって、
1:33:13	少なくともこういう理由で包絡されているとか、そういう記載をしてい ただかないと、
1:33:19	じゃあ何でパターン 1、
1:33:22	3、
1:33:22	4、8 って、
1:33:24	検討しなくていいんだと。
1:33:27	これを検討しないことによって、漏れって発生しないんですかって、こ のあたりがですね。
1:33:34	やっぱりわからないんですよ。
1:33:36	これ 1 例として挙げさせていただきましたけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:40	まず確認させていただきますけど、何をもちこれ包絡されるっていうのがまずど、どういう意味なのかというのと、
1:33:48	何をもちこういうことが書かれているのかっていうのをご説明いただきます。
1:33:55	等他用電力のアオキですと包絡されるという考え方の詳細について補足させていただきます。一つ目の備考のところもあれですが、断層パターン1から8。
1:34:07	については東西方向位置の二通りと傾斜角の二通り傾斜方向二通り組み合わせたもの。
1:34:13	これら要因を分けて分析したほうがわかりやすいだろうというところで分けて分析しております。
1:34:20	その中で決定ケースである断層パターン6というものが、ちょっと検討1から3の流れで選んだものもいいかっていうところ、先ほど議論になってますがロックを基本、
1:34:30	ていうものになると考えましてそれ等それぞれ傾斜角や東西方向位置、経営者行うを変えたパターンと比較しております。
1:34:39	具体的に断層パターン、例えば1とかは包絡されるって書いておりますが、1については断層パターン6と比べると、傾斜角が違って、
1:34:49	さらに東西方向位置が違うものというところでこの二つの結果を合わせて考えれば、そこまで確認する必要はないかなというふうに考えております。
1:35:00	と同じような考えで断層パターン3は、
1:35:02	どう、
1:35:03	断層パターン6に対して傾斜方向が違って主に移動させたもの、そういった考えになります。1個の観点、ちょっと今だと、包絡されるの一言で。
1:35:14	理由とか何でとかっていうところが説明足りてないというところなので、記載の適正化を図りたいと考えております。以上です。
1:35:24	はい。規制庁佐口です。1例で示しましたけど、そういう、まず考えじゃないんですけど、理由は記載していただきたいと思いますけど。
1:35:35	私、これ、前回のヒアリングでも、
1:35:39	確認をさしていただきましたけど、
1:35:42	これって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:35:43	位置関係の話であって、じゃあ何で、多分これ普通に見たら、断層パターン 8 が一番近いと。
1:35:50	思うんですけど。
1:35:52	そういうのって、
1:35:54	違うんですかね。
1:35:55	なので、
1:35:56	多分これ、
1:35:58	検討。
1:36:00	って最終的な、
1:36:02	結論というのがまとめですよ。これが、
1:36:08	140 ページぐらいにあったと思って、
1:36:13	140 ページで書かれているこの矢印の下が一番上ですよ。
1:36:19	この
1:36:20	いいかどうかは別として検討⑤の A - A ケースでは、
1:36:26	書いてあるんですけど、
1:36:27	とにかくピークは重ならないことを確認した。
1:36:32	で書かれていて、
1:36:34	じゃあ、今のこの検討⑤の A のケースで、
1:36:39	本当に十分かどうか。
1:36:42	さっき私が言いました。これって、どれだけ近い、例えば御社が想定する。
1:36:48	波源の中で一番近いと考えられるものであっても、
1:36:54	このピークに、
1:36:55	重ならないっていえるのか、言えないのか、っていうところがやっぱりよくわからなくてあくまでも御社が今のここまでで検討された中では、
1:37:06	重ならないということはわかりましたけれども、
1:37:09	なので、検討④で、
1:37:14	断層パターン 8。
1:37:17	やったら、
1:37:18	実は、
1:37:19	重なるかもしれないし重ならないかもしれないんですけど、
1:37:24	それがよくわからなくて、
1:37:26	先ほどの、
1:37:29	多分それが包絡されるという一言に全部まとめて書かれていて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:35	別に
1:37:36	ちゃんと重ならないということが、
1:37:39	ロジックとして成立した上で、
1:37:43	ご説明いただけるんだったらわかるんですけど、
1:37:46	そういうこともされていないので、本当にいいのかわからないと。
1:37:51	いう。
1:37:53	ふうになんか私も今資料を見て、そういう感想というわけじゃないんですけど、そこはわからないと思っていますので、
1:38:03	ので、考え方でここはきちんと説明できるのであれば、
1:38:07	きちんとそこは、
1:38:09	ご説明していただきたいと。
1:38:11	思います。
1:38:20	当北海道電力の青木ですとこの検討4の方だと、当発電所に近づく方向が、厳しい側になるっていう観点からいうと、
1:38:31	特に断層パターン8とかの分析、
1:38:34	については重要かなと考えておりますのでこの対応については、今ある検討結果から、何がいえるかっていうところを含めて検討させていただきます。以上です。
1:38:49	タニです。お願いしますねえっと、もう時間がどんどんなくなっていて、上昇側と、
1:38:57	ちょっと。
1:39:00	これどうなんですかねっていうのだけ軽くお伝えしておきます。これね。
1:39:05	多分、検討①D AシリーズっていうのとBシリーズの要するにいっぱいやっぱと重なるのと2は重なる。
1:39:14	もの分けたんだっていう中に、
1:39:16	いうところ。
1:39:17	第2版のピークは早く到達する側で重なる波源があるのか探すとかなですね、BC図だったら第一波が遅れる。
1:39:27	のかな、何かそういう何、何、この、この検討がその最後に、どう、こう使われていくのかっていうのは、わかりやすく何か、
1:39:38	書いてもらった方がこれいいかなって思ってるのと、
1:39:41	もう1点は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:43	高萩の分析の中で、7Dがどういう波源なのかっていうのをちゃんと分析されたのかなというのは、
1:39:51	そこはちょっと確認したくって、7でいって、
1:39:55	7でいいですよね加古川で選ばれたけど、上昇側で重なってチャンピオンになりますよっていう、その重なり方、そ、その7Dっていうのは加古川では選ばれてるんですけど、
1:40:07	実はここの重なるところは比較的高いような上昇下においても高いような波
1:40:14	に当たるのか。
1:40:17	とかですねそういうこの分析ってされてないのかな。
1:40:21	重なるところは、こういう
1:40:25	重なる、ちょこっとう上がるものなんかいくらでもあるんだよっていう話で、この資料見たらいいのか、そうじゃなくて、
1:40:34	この重なるところ上昇側で重なるところのピークって、
1:40:38	他の波源と比べても結構高いような波源、だから7Dが、ちょっと特殊で大きくなるっていう話をしているのかとか、その辺の分析がされているのかどうなのかっていうのを、
1:40:52	確認させてください。
1:40:56	もう分析してるかどうかだけでいいです。
1:41:03	当北海道電力のアオキですと7-Dに関する分析については、具体的に93ページ以降の5.6の泊発電所波源の特徴上昇側、
1:41:14	というところでまとめております。
1:41:16	その中で言いますと96ページから98ページにかけて、水位時刻歴は計載せまして、この中で川白のピークと重なる範囲で、7-Dのピークが大きくなって、
1:41:29	固まってるっていうところで設置してます。またスナップショットの関係からは100ページ101ページ等で分析しているっていうところは、7-Dに関する分析というところになります。
1:41:41	どういった分析してるかっていうところについての判断で、だからこのちょこっとう上がってるようなところが、他の波源と比べて、いや結構沖側なんだよっていう話だとかそういうところまではちょっと見てないってことでいいんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:00	見てないんだったらちょっと見といたらいいのになっていうふうに思うんですよね。いや、何でこんな話になってるかって7でいいって低下側でしか選ばれてないのに、
1:42:10	何で上昇側で重なって、ことごとくチャンピオンなるんですかっていうのがきっかけになって、
1:42:17	この上昇側においても比較的高いものなのかどうなのかみたいな話とかも、何かできるんだったらしたらいいのになんて思ってこういうことを言ってます。
1:42:33	あとはねえ、ちょっともう時間ないんで加古川の話に入っていこうと思うんですけど。
1:42:39	加古川って、なんでこの時間、時間、加工時間だけを説明してると思うんですけど。
1:42:48	何かこの過去低下時間かかっスイテイカジ間、
1:42:53	下降量だとかそういうことは、特にこう、
1:42:57	触れてないと思うんですね、波源の。
1:43:00	瀬選定の妥当性を説明する中でなんで時間のところだけを説明することで良いのかとかちょっと入口の部分が、考えがわからなくて、確認させてください。
1:43:15	当北海道電力のアオキですとか古川の水位変動量の加古川に関する考え方ですが、ちょっと資料構成上わかりづらくて恐縮なんですけど213ページの、
1:43:28	当加古川のまとめに該当する敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定のところで説明しております。
1:43:36	その中で一番上段の表で、
1:43:40	方針の変更というところで一番右側の3号炉取水口加古川、
1:43:45	この水変動量の最大ケースの考え方を書いてまして変更前ですと最大ケースとして選定するっていうところを記載しております。変更後ですと、取水口の前面に貯留堰を設置するので、
1:43:56	水下降量については、ちょっと影響がないというところで選定しないという方針を書いております。以上です。
1:44:06	谷です。これあれですね。そっか、5-11位で、
1:44:11	変えたから。
1:44:13	だからこれ説明しなくていいんだって話ですね。だからもうちょっと繋がりでも確認しますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:19	だとしたらねちょっとそれは何か分析のところ分析、分析、
1:44:27	なんかこう、前回と変えたからこれは、
1:44:30	ここだけ説明するんですよっていうのは、
1:44:33	何か書いてもらったほうがいいかなと思うのと、あとこれ 213 ページ加古川の考え変えましたっていう話があって、
1:44:41	200 どこだったっけ上昇側も、
1:44:46	最大スギノ選び方変えましたっていう話があるんですよね。
1:44:50	どこだったかな、これね。
1:44:53	変えましたらいいんですけど、
1:44:55	変えて問題ないんですとか、抱えるのが妥当なんですとか、同道して、
1:45:01	変えてるんですとかいう説明が、僕はこれ資料見ててよくわからなかったんですけど、そんなものを本ほいほい変えていいのかなっていうちょっと、
1:45:12	これ多分大事なところなんですよ。それに対して、なんでこの説明が、
1:45:18	ないのか、今小上昇側の選定する波というのをこう考えているっていうのは、
1:45:26	都道どこに、どこ見たらわかるんです。今のこの選定で、
1:45:33	をするのが妥当なんですっていう説明ですね。
1:45:50	上昇が 194 ページでしたね。
1:45:56	これ、最大ケースの選定の方針を変更した。
1:46:00	で変更した内容だけこう書いてるように僕は思ったんですけども。
1:46:04	どっかこれ見てこうこうだからこう変更するんですよっていうのを読めるんですか。
1:46:29	北海道電力奥寺でございます。
1:46:31	我々、我々が志望絞り込んだ結果っていうところなんですけれども、逃げを、
1:46:42	いろんな分析からこういう理由で絞り込んだっていうところでもって、最終的に、
1:46:49	今まで 1 から 20 とかいろいろ数字出てるんですけども、
1:46:54	ある特徴のもので絞り込めるのではないかという目で今まで分析してきました。
1:47:00	ここの絞り込んだところというのは、備考に書かせていただいていますけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:11	取水口あたりの水位時刻歴ハケ等法所定の時刻歴は系比較してった時に、
1:47:20	同じようなメカニズムで、
1:47:22	水位上昇等が認められると、というようなところを確認しているので、同じ波源にしても問題ないのではないかと。
1:47:32	というようなところは、触れさせていただいた上で、
1:47:36	今のこの結果に至っているということでございます以上です。はい、丹治です。いや、何かよくわからないですね
1:47:43	ちゃんとこれでいいんだっていうのをですね書いて欲しいです。で、以前はこうしてたけど今回こうしてるんですけどっていう話だったら、それって、これを変えることによって分析だって、その前提条件が変わってるような気がするんですよ。
1:47:58	ていうのを考えると、これな、なぜこう概要の1、一番最初とか2行出てこないのかなっていう。
1:48:09	そこもですね、聞いてて、
1:48:13	わからないところなんですね、だって、これ。
1:48:17	地形ごとにチャンピオンを選んでいくんですけどっていう話だったら、
1:48:25	検討①から⑤のやり方だって多分ちょっと違って来るんせんやり方が変わるのかよくわかんないです。説明の仕方が変わってくるっていう方が正しいのかもしれないですけど、
1:48:36	変わってきそうな話だと思ってるんです。で、
1:48:40	最終的にこういう選定をするんですけどっていう話は、もうしっかりとですね説明してください。これなんか、さらっと書いてるけどこれ論点になるん。
1:48:51	じゃないかなと思ってますんでお願いします。
1:49:02	すいません規制庁鈴木です。同じ加工側でどうでしょうかね11ページお願いできますか。
1:49:10	この右側に下降側のフローが出ていて、
1:49:15	もうすでにやったことの羅列という話はしているので、5.9のところ、とか工場の特徴で、二つ矢羽根がありましたと。
1:49:26	やっぱりここから5-10に行くときに、もうすでになんか上昇側でこういう傾向があったんで、その変動の考慮について確認しますと書いて、
1:49:36	ここの間が飛んでるといふかそもそも5-9でやった結果、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:41	特徴わかりましたと、本来その特徴を踏まえると今までのやり方に間違いなかったのか抜けがなかったのかっていう省みることがあるはずなんですけど、
1:49:50	これ5と9と11をこれ繋がってるんですか話は。
1:49:54	比木を踏まえて5の中の各確認をしてるっていうその理解でいいですか。相田が書いてないんでこれは上昇側と同じく、きちんと書いていただきたいのはあるんですけど。
1:50:08	北海道電力の青木です。
1:50:11	藤号炉9章の特徴については記載の通りだと考えております。一方後の住所がそこから流れていってこの特徴を踏まえた評価かと言われるとそうではないというふうに考えてます。
1:50:25	はい、わかりました。五級とこの中は全く独立してるんですね。
1:50:33	はい。
1:50:35	とすると結局5-9の特徴を踏まえて、何かやり直す必要がないのかっていうところは、
1:50:41	いや、結果として、こういう理由で、この9の特徴はこれは今後考慮する必要ありません。別にこれはいいんですという説明があるんだったら、それは書き加えてくださいとこの9、
1:50:52	その上で、それとは無関係に(10)があるんだとすると、
1:50:56	この後の中で一応組合特徴を踏まえた組み合わせ評価の妥当性ですね下降側の、この確認ということなんですけど、
1:51:05	ちょっとこれで、このやり方でなぜ妥当性が確認できるのかというのは書いてないんでそれは一旦置いといてですね、この時間も時間なんでこの検討内容っていうのは、これ、
1:51:16	前回から多少書き振り変わってますけど、ルールは変わってないっていう理解です。
1:51:22	例えば以下の水位時刻歴210ページですね。
1:51:28	検討内容と書いてあって、二つマルがあって、
1:51:32	二つ目の丸に書いてある内容ですね。
1:51:42	当北海道電力の青木ですと210ページとわかりやすさの観点から、説明の仕方等を変えたところございますが、今やってるところについては前回の資料と同様になっております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:56	はい。そうすると確かにこの 210 ページのページですね前回のヒアリングしてるとその 328 ページのことをわかりやすく書きかえまして、記載しましたと。
1:52:08	例えば 210 ページの左下で箱書きで、何か T + J、0メートル以下とするとかってより詳細なルールですよ。
1:52:17	これを書かれていて、確かにこの 210 ページと前回の 328 ページ見ると、いわゆる下降側となる範囲ってこの点線だとか、3号炉の
1:52:28	て黄色かな、黄色で書いてあるその組み合わせ結果の方ですねこれの黄色い点線の範囲っていうのは、多分違いがないんですけど、
1:52:38	前回の資料見ると具体的にですね、
1:52:43	ルールは変わりませんと、そのルールの適用の仕方って前回と一緒にですかと思って、
1:52:50	前回だとですね 1D南 10 ケース 6 なんて前回だと、335 ですかね。
1:52:58	今回の補足説明資料とは、今回だと補足説明の方に移ってるんですけど、
1:53:04	前回の資料後で見直しいただきたいんですけど、何か第 2 は下降側の第 2 が第 3 報と重なると言いながら、今申し上げたところって第 2 は、
1:53:15	全く重なってなかったんですよ。ちょっとこれ前回のヒアリングの時にてよかったんですけど、ただし今回のヒアリング資料を見ると、実はそれが確かに設営上重なるように書き変わっていて補足の 155 ですかね。
1:53:31	何かルールは変わってないっていう話だったんですけどルールの適用の仕方を変えて、収まるような説明に、
1:53:37	書き換えたのか、これは前回の資料が書き前回の資料の時点で誤りがあったんで今回訂正しましたかっていうそれどちらですか。
1:53:50	北海道電力の青木です。層厚説明があったのが、補足説明資料の 155 ページの、
1:53:57	1D南 10 のケース、ケース 6 の話かと思っております。この中で紫色の矢印書いてる加古川となる範囲が前回の資料から変わっているが、
1:54:09	これについて、どう、どういった考えで変えたのかっていうところの確認だと思ってます。回答としては、ちょっと内容を踏まえまして記載の、
1:54:18	違う内容を踏まえまして実態に合わせて、適正なものに修正し直したというところになっております。
1:54:27	以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:54:29	実態を踏まえてというのは第2は収まるようになってことですか。いや何でそういうところも含めて、前回のチェック資料のつくりが甘かったというなら、その前提で、この辺資料見ようと思いますけど。
1:54:41	あともう1個教えてもらいたいのは、150、補足の157ですね。
1:54:47	これもですねこれ多分前回から下降側となる範囲っていうところは書き換えてないと思うんですけど、
1:54:54	これー右側見ると、これって、全部のケースについては下の特徴というところがずっとコピー&ペースト同じ記載がずっと並んでるんですよ。
1:55:05	これ大サンパの重なるって言うてるのは、
1:55:08	こういうのも重なる重ならないの判断っていうのはこれ、
1:55:12	第3%の下降側が0メートルとなるとところが少しでも重なってれば重なるっていう判定なんですけどちょっとそこら辺、
1:55:27	この辺もどういうことをもって重なってるという判定してるのかがここもよくわからないんですけど。
1:55:34	これは、
1:55:35	下降側の一番下になるピークが重なってればOKなのか、ゼロメートルからまた下がりますよね第三部でまたもう1回ゼロメートルに上に上がりますけど、
1:55:46	そこまでおさまれば、傘の重なってるという判定するのか、ちょっとそこら辺もよくわからないので、1個1個多分説明聞いてると時間もあれなんで、ちょっとそういうところも含めてですね、ちょっとルールの方を明確化にしてください。
1:56:02	いかがですか。
1:56:05	北海道電力の青木です。どう考え方についてももう少し明確化して整理して欲しいというところだと思いますので記載の適正化を考えたいと思います。
1:56:16	この考え方については下降側についてはPEEKと必ずしも重なる必要があるとは考えておりませんので、この波と重なるっていう考え方で整理したのになっております。以上です。
1:56:28	はい。そういうところを、ルールとかですね、なぜこのやり方で妥当性が確認できるんだっていうところをまずしっかり書いていただかないと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:36	ちょっと前回と、前回の資料が少しですね、適正化が必要だったということかもしれませんが、何かこの妥当性が確認できると言い切るために、ルールルールとか或いはルールの適用とか、
1:56:49	その仕方を収まるようなルールに変えてるんじゃないかっていうところものすごく日本になるが出てくるので、そこら辺はしっかりしてくださいということです。1個1個多分確認すると時間がないので、以上です。
1:57:08	ちょっともう時間がほぼない、ない状況なんですけどこれだけはどういうことで、
1:57:18	あ、ちょっと調整官は手を挙げられて、調整官お願いします。
1:57:27	規制庁の名倉です。
1:57:30	ちょっと1点だけ確認したいことありまして、
1:57:34	資料の195ページなんですけれども、
1:57:41	水位時刻歴明を比較した結果概ね同様であることを確認したということ、
1:57:47	この赤字の方の数値をオミットしているんですけどこれは。
1:57:54	奥寺です。その通りです。
1:57:57	これは、
1:57:59	今回初めてですか、今までこういうことやってました。
1:58:12	北海道電力奥寺です。前回の日の資料からは変えてないです剥げを絞り込むという観点では、代表的なものとして、
1:58:24	良いのではないかという説明資料でございます以上です。
1:58:29	すいません私前回いなかったのものでそう、前回ってのはヒアリングってことですね。
1:58:33	カウンセリングですはい。
1:58:36	これ評価値が変わりますよね。
1:58:40	上は、小数点以下蓋桁目が切り上げになるので、11.8で黒字は11.8が評価値になるはずなんです、
1:58:49	下の方は切り上げなんで、
1:58:53	11.9が評価値になりますよね。
1:58:59	こういうものを、こういうことやっていいんですか。
1:59:04	やっていいというか、
1:59:06	これで概ね同等なんですか。
1:59:13	北海道電力奥寺でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:16	当社の数字の表記ですけれども小数点以下ふた桁で、
1:59:22	いろんなものをの比較っていうのをしております。
1:59:26	いや、やっていい悪いというよりは、絞り込めるのではないかと代表性あるのかないのかっていう観点で、
1:59:36	同じような波源なのではないかこちらを使っても代表できるのではないかと、そういう差ではないかということをはケと数値両面から、
1:59:49	こう考えたというところを資料に起こしてございます以上です。
1:59:54	なぜ起き方を採用しないのかっていうこと理由が、
1:59:59	不明ですね。
2:00:00	以上です。
2:00:19	すいません、あと1点だけ。
2:00:21	コメントを読み誤っているんじゃないか。
2:00:25	という気がちょっとして、10ページを開いてください。
2:00:32	10ページで3132番ってコメントあるんですけどこれ多分違う会合でのコメントの指摘だと思うんですが、
2:00:40	31 d 31 と 32 で同じようなこと言ってるように見えるんですが、
2:00:46	31 でコメント回答した際にできていないから 32 で改めてコメントをされている。
2:00:52	というふうに理解していただきたいと思うんですが、
2:00:55	それ波源モデル地形モデル評価点の違いによる傾向特徴について十分整理することっていうのは、それぞれ十分に整理することって読まないといけないんじゃないですか。
2:01:09	それを関連付けして説明しているところが、私はちょっと理解できなくて、
2:01:15	特に波源モデル。
2:01:19	の違いによる傾向特徴について十分に整理することっていうのをここ確かこの指摘をするときに、大分議論をして強調していたと思うんですが、
2:01:30	今回事業者の説明資料は、波源モデルの分析が、
2:01:35	やってるようでやっていないのか。
2:01:38	よくわからない部分があって、
2:01:41	先ほども佐口の方から指摘ありましたけど、
2:01:44	ここのところがですねやはり、
2:01:47	ちゃんと波源を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:49	による違いを分析、考察たりして、ちゃんと明確にしておかないと、
2:01:57	最大ケースを、
2:02:00	地震に伴う津波の最大ケース、湯以外の波源について展開するとき、
2:02:06	やはり、
2:02:07	明確になっていない状況では、検討何やってるか、ここはわかりにくいんじゃないかなと思います。
2:02:17	そこら辺はちょっと私も今回期待してたんですけど、
2:02:23	まだ読めていないのかそれとも実際書かれていないのか。
2:02:29	まだ分析はちょっと進んでいませんが、このところは、
2:02:36	やってるんであればもう少ししっかり書いていただきたいと思います。
2:02:41	以上です。
2:02:46	北海道電力奥寺でございます。
2:02:50	波源の特徴という、大きい意味では、
2:02:55	①の、いろいろな波源の中から出てきた、は形もハゲの特徴かもしれませんが、
2:03:04	そういった奇形モデルによって波源が、
2:03:08	波源のある波源がどのような感じになるか、そういったもの全体を含めては下の特徴かと。
2:03:14	考えますけれども大きな意味ではそういう意味では、
2:03:18	禿げ等々定義、ここで説明する波源ってのどういう定義するかにはよるんですけども、
2:03:26	1 から 20 の剥げに対してこういう特徴があるというところは、
2:03:32	整理して、整理してきたつもりではあったのですがそういうつもりで、資料を記載してございます。以上です。
2:03:43	すいませんそういう意味では、波源という言葉が、ちゃんと説明しないとけないんですが、
2:03:49	波源の①から⑳の波源の違いによることを言ってるんじゃないかと、
2:03:56	波源のパラメータの違い。
2:03:58	これによってどう違うのかっていうのをもう少し明確に言わないと、説明が十分ではないんじゃないかかっていうこと言っています。
2:04:06	だからちょっと言葉の使い方にもいるんですが、
2:04:10	このところはちょっと、
2:04:12	元のパラメーターの話です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:16	波源の位置とかパラメーターの話これがどういうふうに、第1ピーク第2ピークとか、そういったところに、あと到達時間に関係するかっていうところの考察なり何なりをしっかりといただかないと、
2:04:30	この後、④⑤に展開するときに、
2:04:34	①から⑳の波源以外の波源への展開が十分にできないんじゃないかという問題意識です。
2:04:43	すみませんちょっともう時間もなくなってきたので、すみませんあと1点だけちょっと注意喚起だけしておきますけれども、
2:04:50	施設側の会合で、2月2日に会合を開かれていると思うんですが、
2:04:57	そのときに、コメント回答をされていて、引き波側の水位の評価方法について、
2:05:05	コメント回答してると思うんですけど、これって今こちらの地震津波側ハザード側でやってることに影響するのであれば、
2:05:14	評価、評価値とかですね、そういったところはある段階でちゃんと反映していただきたいと思うんですが、これについてはいかがでしょうか。
2:05:50	北海道電力奥寺でございます。の趣旨はわかりましたプラント側で評価したことが、
2:06:00	こちらの方の波源の選定等に影響するのかなどうか、そういったところが
2:06:08	例えば影響するような状態になるのであればフィードバック等を頭に入れながら進めていきたいと思います。以上です。
2:06:18	名倉です。
2:06:22	は下の選定そのものよりもスーチャーが多分変わると思うので、
2:06:27	それについては、
2:06:29	必要に応じて、
2:06:31	5日の段階で反映するというので、施設側の検討が終わり次第反映するのかそこら辺は考えておいていただければと思います。
2:06:40	以上です。
2:06:48	規制庁佐口ですけど、ちょっとまだ気が早いのもかもしれないんですけど一応確認だけ最後の、
2:06:54	217ページなんですけど、もちろんこれ確定でも何でもないので、
2:07:01	もう現時点で、
2:07:04	この217ページが、
2:07:07	基準地震、基準地震じゃない、基準津波に。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:11	なるものと、御社は考えているという理解でよろしいでしょうか。
2:07:22	北海道電力の奥寺でございます。基準津波かどうかというところは後段の判断とかになってくると思うんですけれども、その候補として、
2:07:33	影響が大きいのではないかと今回の検討①からで、
2:07:39	出てきた波源だと考えてございます。以上です。
2:07:46	はい。規制庁佐口です。ちなみになんですけれども、今だからこれはあくまでも組み合わせに対して、その一番影響が大きいものですよと言ってるだけなのかもしれないんですけれども。
2:08:01	基準津波という話に今後なった場合に、
2:08:06	今例えばですね、
2:08:07	比木系モデルってあるんですけど、これ、その防波堤を損傷して、したモデルが、そうじゃないかという、いわゆる健全な地形かそうじゃないかってあるんですけど、
2:08:20	これって例えば先行サイトとかだと、
2:08:23	いろんな選定方法あるとは思いますが、
2:08:27	どこか例えば先行サイトでこういう防波堤を、
2:08:33	損傷した場合と、それから損傷しない場合の、
2:08:38	中で、全部ひっくるめて、一番大きいを選んでおけば、やあ的なサイトって何かあったのかどうか、どっか何か参考にされているサイトとかあるんだったらちょっと教えてください。
2:09:13	北海道電力の奥寺でございます。
2:09:16	他サイトの状況等は参照しながら進めておりますけれども、
2:09:23	基本、健全地形をベースにやっていっているのではないかなとそういう認識でございますけれども、
2:09:31	今回、いろいろと分析した結果大きい値と、
2:09:36	いうものがどういったところで、各評価項目に対して、影響の大きい波源が出てきているのかというのを我々なりに導出できているのではないかとこの前提のもとで、
2:09:50	こういう結果になってございますので、地形モデルと組み合わせて、波源を決めてもいいのではないかと各評価項目に対して、そういった考えでこちらの方まとめてございます以上です。
2:10:07	はい、規制庁サグチですわかりましたので基本、御社オリジナルというかこれまでになかったというそういう、
2:10:16	理解でよろしいということですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:21	北海道電力奥寺でございます。防波堤をここまで分解して検討せよという流れの中で、やってきたサイトウ自体がないのではないかと考えております。
2:10:34	なのでその検討過程統計結果に関する、
2:10:38	選定について、それぞれオリジナルなものだと思っております。以上です。
2:10:46	荒谷です。さっきのところついでについでにどうか確認させてください、これ。
2:10:51	貯留堰を下回る継続時間パルスを考慮しない時間だけで加古が選んでるんですけどこれ、加古川をね時間だけで選んでる。
2:11:00	サイトウはどのようなサイトがありましたか。
2:11:02	調べてますか。
2:11:15	北海道電力奥寺でございます。
2:11:19	確定しているサイトはない。確定しているサイトの中で、設置許可等進んでいるサイトの中でこういった事例はないと思っております。
2:11:31	以上です。
2:11:33	これさっきあの私あの論ティンにこれなるかもねっていう話をしたんですけどけれども、これもしね、時間だけじゃなくて、加工量、
2:11:43	もう何か説明が要るってなったときにはこれまた分析、
2:11:49	足りないことなり、なる可能性があるんだけど、そこはもうあれなんですか。もうそうはならないっていうふうな判断で作られてるってことですよね。
2:12:00	そういうことですよね。
2:12:06	北海道電力奥寺でございます。貯留時期があるので、ポンプの水位が著しく低下するっていうようなところは、まあまあなまずないということで、
2:12:17	であれば、下回る時間で時間が一番大きなパラメーターではないかと考えて今のようなまとめとしてございます。以上です。
2:12:30	はい。
2:12:31	なんかその辺そういうところもね、説明しなきゃいけないんだと思いますけどはい。
2:12:37	ちょっと今日はいずれにしても時間がなくて、これで多分それぞれ、私自身ももうちょっと聞きたいことあったし、みんなそういうのあると思うんで何か、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:48	ちょっとどうしてもどうしてもというかちょっと誤記です。1点だけでも1個あります。すいません規制庁のババです最後にその資料の動き方の点について1点だけ。
2:13:00	資料の114ページなんですけども、地形モデルの分析選定というところで最初のフロー、
2:13:09	右図にあるんですけども、そこの枝分かれする部分がそれぞれ同じ文言で分岐されてるんですけどもそれについてちょっと直していただきたいなと思うんですけども、あと、
2:13:21	同様の間違いで、資料の141ページも、ちょっと確認をお願いいたします。
2:13:33	分岐で両方第一波になってるってことですかね。大庭さん。
2:13:39	はい、土山です。おっしゃる通りです。
2:13:42	北海道電力の青木です。114ページ、右側の青字で書いている検討2のB-B-Cへ流れていくものについてすみません誤記でして、
2:13:53	正確には地震伴う津波の第一波のピークが正となります。
2:13:58	同じく141ページの、
2:14:01	円筒2の西垣の方で流れていくフローについては、第2版のピーク、赤字の地震に伴う津波の第2版のピーク発生になります。今後主
2:14:12	大きなように気をつけます。以上です。
2:14:17	はいお願いしますね。えっとですねちょっとこれ資料、やっぱり考え方ははっきりして欲しいっていうような話でいくつかあったと思うんですねこれ。
2:14:28	多分今言ってもなかなか時間読めないと思うんで、資料修正どれぐらいかかるかですね、目とかめどが立つところ読めた時点で1回、ロジ的に連絡ください。
2:14:39	で、それを、その連絡をこう聞いてですね、今後どうするかとか、このまま会合かけるかとかそういう話もあるのかもしれないんですけども、
2:14:49	検討したいと思いますので、まずは資料の修正どれぐらいかかるかを考えておいてください。
2:14:59	北海道電力及びうちのウェブで参加している人から特になければ、ヒアリング終わりにしたいと思うんですけども、何かありますか。
2:15:13	北海道電力奥寺でございます。
2:15:16	ございません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:15:18	はいそれでは本日のヒアリングを終わりにします。
2:15:22	どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。